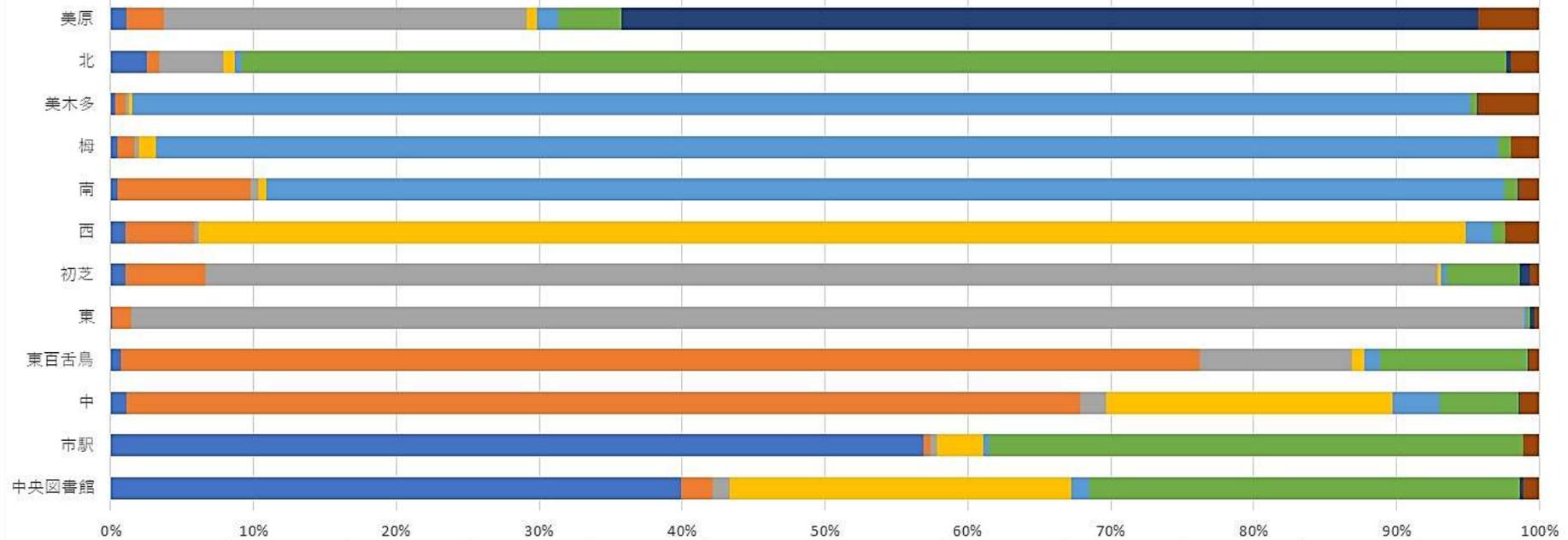


令和4年度 堺市立図書館サービス評価(案)

Ⅱ各サービス方針にかかる評価 令和4年度の取組み(案)について(意見)

	意見	回答
1. 地域の知の拠点として、市民のくらしに役立つ資料・情報を提供します。	ホームページの閲覧数を記載するのであれば、URLの記載があった方がよいとおもう。どのページのことなのかよく分かりませんでした。	各種ページの合計のため、URLを全て記載することは難しいですが、p6に注釈を追記しました。
	各区民が電子書籍を含め、どこの図書館を利用しているか、利用を調べたい。身近に図書館がない地域が多い中で、市民の利用実態や利用しにくい人々への努力の方向もさぐれるのではないかと。	住所別の利用統計は別紙の通りです。
	令和3年度のサービス評価と比較して、p.6の指標欄と、p2～4の活動実績との組み換えをしているようで、新たにtwitter投稿件数が加わっているのですが、この表だと、複数年にわたって目標が達成できていないように見えてしまいます。特定の年度に対する目標値なのか、3カ年統一の目標値なのか分かりにくいと感じました。R04目標値などとした方が分かりやすいかとも思いました。また、p.6、p.8、p.10でR02とR03が「数値」となっていたり「実績」となっていたりしますので修正してください。	令和2年度サービス評価から中央図書館基本指針に合わせて構成を変更しましたが、指標の見直しはしておりませんでしたので、今回変更をしたところです。ご指摘いただいた箇所は修正をしました。
	以前は、リード文の文章中に「ICTの積極的な活用」がりましたが、いつの間にかなくなっているのが残念です。地の拠点として、ICTをどのように活用していくのか、その点も重要ではないでしょうか。	中央図書館基本指針(令和2年度策定)を基に図書館サービスを実施していることから、図書館サービス評価も令和2年度分から構成を変更しています。リード文も基本指針のp19「サービスの基本方針」を転載しています。また、中央図書館基本指針では、サービス基本方針を実現するための基盤としてシステム・ICT活用を位置づけており、時代の変化に応じた技術の導入を進めていきます。
2. 生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。	児童向けの定例のおはなし会・読み聞かせ会の回数は増えているのに参加人数は増えていない。曜日や時間を増やしたり、変更したりはしないのか。	定例のおはなし会・読み聞かせ会については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止または回数や受付人数を制限しての開催となっていました。現在は新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、受付人数の大幅な引き下げを止めることができたばかりであり、しばらくは経過を観察していきます。
	電子書籍の貸出数が令和3年度、4年度は令和2年度と比較して減少しているのが目立ってしまうように感じます。令和2年度はコロナ初年ということで需要が大きく増えて、令和3年度、4年度はコロナ以前程度に落ち着いたということなのでしょう。見解文があっても良いと思いました。	電子書籍の利用は令和2年度と比べると減少していますが、平成30年度と比べると大幅に増えています。おっしゃるとおり、新型コロナウイルス感染症の影響で急増した利用が落ち着いたものと考えられます。P9に電子書籍について追記しました。
3. 「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。	こちらに掲載されている指標は満足度を除いて、目標が高すぎたように感じます。難易度も高いものが多いので、令和6年度以降は目標値の見直しを検討しても良いかと思えます。	堺市の事務事業評価にも含まれている指標でもあるため、そちらとの調整も必要とはなりますが、今後検討していきます。
	市民との協働事業実施回数が活動実績に移行してしまっただけで、この実績が目立たなくて残念に思います。必要なものは両方に記載があっても良いかと思いました。	ご提案いただきましたとおり、市民との協働事業実施回数を両方に掲載することとしました。
	リード文に「世界に向けて発信」とあるが、多言語翻訳での情報発信を行っているのか？堺市は多くの歴史や文化が豊富な都市なので、その魅力を図書館から世界へ積極的に発信していただきたい。	多言語翻訳での情報発信は現在行えていません。HP等今後の検討課題と考えています。リード文は中央図書館基本指針のp20「サービスの基本方針」を転載しています。
	新しい堺のまちづくり・地域づくりを具体的に明示する。	サービスの具体的な方向性の詳細については中央図書館基本指針のp29に記載しており、紙幅の都合上、割愛しています。図書館は、市民のくらしに寄り添い、さまざまな学習の機会を提供することで、市民の活動・交流を生み出し、地域の課題を解決することを通じて市民によるまちづくり・地域づくりを支えています。

住所別個人貸出者数（割合）



	中央図書館	市駅	中	東百合鳥	東	初芝	西	南	梅	美木多	北	美原
■堺区	39.97%	56.88%	1.09%	0.75%	0.10%	1.04%	1.08%	0.46%	0.50%	0.35%	2.56%	1.10%
■中区	2.18%	0.52%	66.75%	75.51%	1.33%	5.65%	4.78%	9.37%	1.15%	0.70%	0.83%	2.61%
■東区	1.20%	0.47%	1.84%	10.61%	97.47%	86.21%	0.30%	0.54%	0.34%	0.21%	4.55%	25.42%
■西区	23.87%	3.20%	20.01%	0.89%	0.07%	0.25%	88.70%	0.53%	1.21%	0.30%	0.77%	0.72%
■南区	1.26%	0.42%	3.30%	1.12%	0.13%	0.39%	1.85%	86.65%	93.95%	93.63%	0.49%	1.46%
■北区	30.14%	37.33%	5.53%	10.34%	0.24%	5.14%	0.89%	0.95%	0.87%	0.42%	88.46%	4.40%
■美原区	0.22%	0.02%	0.14%	0.07%	0.33%	0.68%	0.04%	0.07%	0.02%	0.07%	0.30%	59.95%
■他市	1.16%	1.15%	1.34%	0.71%	0.33%	0.66%	2.37%	1.44%	1.98%	4.33%	2.04%	4.33%

令和4年度 堺市立図書館サービス評価(案)

Ⅱ 各サービス方針にかかる評価 令和4年度の取組み(案)について(質問)

	質問	回答
1. 地域の知の拠点として、市民のくらしに役立つ資料・情報を提供します。	インターネット蔵書検索システムのアクセス回数の増加はどうか分析・評価されているのでしょうか？	インターネット蔵書検索システムのアクセス回数は令和2年度から徐々に増加していますが、平成30年度と比べると減少しています。貸出点数と同様に、利用が戻ってきたということではないかと考えます。 また、各館の予約受付点数は減少していますが、Webでの予約点数は平成30年度に比べ増加しており、対面での予約からWebでの検索・予約へと移行しています。(予約点数は平成30年度の105.7%) 今後、より情報を探しやすくなるようホームページを見直す必要があります。

令和4年度 堺市立図書館サービス評価(案)
 II 各サービス方針にかかる評価 令和4年度の取組み(案)について(評価)

	評価
<p>1. 地域の知の拠点として、市民の暮らしに役立つ資料・情報を提供します。</p>	<p>「市民の読書環境の充実」がどんな内容なのか、図書館の内外で市民の要望も含めイメージを共有したい。図書館を利用していない人も含め、図書館への期待や要望、利用しやすい図書館とはという課題につながるのではないかとと思う。</p> <p>ツイッターでの情報発信で、区長さんらが投稿されているのは意義を感じる。さらに親しみやすく市民のニーズに応えるものにしてほしい。回数では評価できないのではないかと？</p> <p>twitterの指標については、p.14の堺区のページではtwitterについてポジティブな表現になっていますが、実際は目標値を達成できていません。twitter投稿については職員がコントロールできる数値だと思いますが、目標値が高すぎたのでしょうか。各区から投稿をしているのなら、担当者が指標についての認識が出来ていなかったとか、進捗管理が出来ていなかったのではないかと推察されます。各館の館長だけでなく職員レベルで評価指標を共通認識として持つておかなければならないのではないかと感じました。</p> <p>コロナ禍の影響もあり、目標設定は難しいと思います。新しい取り組み等の目標設定はもっと慎重にしたほうがよいと思います。</p> <p>読み聞かせボランティアの方からの意見で、定番の絵本として長年おすすめの本にも挙げられている本が書架になくて、カウンターで訊くと書庫から出してくれることが多いとのこと。子どもたちの「生きる力」となる本は展示したり、常に閲覧室に常備してほしい。これは貸し出しの増進にも繋がると思う。</p> <p>今回初めて「本の紹介・ブックリスト」をホームページから閲覧した。10年以上前からのものが閲覧できるようになっており閲覧数が減少しているのは残念。アクセス方法やページ構成などの見直しに期待している。</p> <p>様々なブックリストを作成し、配布・公開しているのに公開件数は減少している。アナウンスの仕方を考える必要がある。</p>
<p>2. 生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。</p>	<p>堺市電子申請システムを利用した新規登録と更新手続きを開始。現物(プラスチック)の貸出カードは発行せず、図書館ホームページにある「貸出カード 番号表示」機能を活用することで図書館に来館することなく新規登録手続きを完了できるようにした。“とありますが、個人的には図書館に行かなくても登録できる仕組みはともよい取り組みだとおもいます。</p> <p>「学校と連携して学びを支援します」をすすめてほしい。閉じたままだった図書室が開き、図書室が子どもたちの大事な居場所になってきた。しかし、学校図書館司書が2校かけもち、1校に週2回9:30～14:45でたいへんな努力をされている。</p> <p>子どもの読書環境の充実や居場所づくり、子どもの学習や教職員の授業や教材支援など、学校図書館は大きな可能性をもっている。学校図書館への積極的な支援をすすめ、教育委員会にも問題提起をしてほしい。</p> <p>図書館を紹介する動画を作成し各小学校へ通知を行ったことは今後の図書館利用につながると思う。</p> <p>利用者アンケート調査で館内の過ごしやすさの評価が下がってきているのには、設備の古さや自習室の不備などがあると思われる。新しい中央図書館の構想を期待している。</p> <p>非来館者への新規登録システムの採用や、ボランティア養成講座の動画配信など、新しい取り組みがされたことは評価できる。</p> <p>サービスの具体的方向性の中に、「学校と連携して学びを支援します」とあるが、「図書館を紹介する動画」であれば、直接的な学びの支援というよりは、図書館のPRに近いようにも感じる。もう少し一歩踏み込んだ支援もしていただきたい。また小学校以外にも中学校や高校など支援を広げて欲しい。</p>
<p>3. 「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。</p>	<p>マイクロフィルム化・デジタル化したコンテンツ数については、これからも予算の許す限り進めていただきたくおもいます。</p> <p>コロナ禍の影響もあり、目標設定は難しいと思います。新しい取り組み等の目標設定はもっと慎重にしたほうがよいと思います。</p> <p>堺や大阪府の歴史的資料をデータ化と保存に努めていることは大いに評価できる。カラーコピー機が中央図書館にしかないのは残念。</p> <p>堺市図書館が保存してきた貴重な書籍や資料の継承の努力を続けるとともに、歴史・文化を学び、いかす取り組みとの連携がもたらされているのではないかと。</p> <p>文学者については、与謝野晶子のほかにも、安西冬衛 河井醉茗 伊東静雄を始め、親しまれている文学者は多い。例えば伊東静雄は美原区より堺区在住の方が長く、戦中堺の空気を伝える詩を残しているし、研究顕彰グループがある。図書館の側から意識的な協力連携の努力が要るのではないかと。</p> <p>区ごとの歴史・文化の発信・継承へ、「市民交流の場をつくります。」「堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします」という方向で、市民とともに全館で工夫した取組みを続けてほしい。</p>

<p>図書館実績について</p>	<p>蔵書更新率が年々減っている(平成30 5.8%→令和4 4.0%)のは問題ではないか。古い本の率が高く、最新の情報を探しても無かったり(白書等が中央図書館に毎年更新されていない)、予約本が数か月後にやっと入手といった現状である。 雑誌タイトルも1,315→1,224 で94タイトル減。市民がもっとも求めている最新の情報である雑誌があまりにも少ない。各区での市民の声を聴いてほしい。中央図書館には、専門的な雑誌をそろえる気概が必要だと思う。</p> <p>市民ひとりあたり貸出し点数が5.2→4.8冊で、必要な時に適切な資料や本が無いことも関係がある。資料費が充実しているところでは、9～10冊と聞いている。</p> <p>児童サービスについて 子どもの生きる力を育むための読書は今とても大切になっている。児童サービスの資料の見せ方について考えてほしいという声を聞く。長く読み継がれている絵本や幼年文学、児童文学を開架室に置き、展示の工夫をして紹介する工夫をしてほしい。(大事な本が古くなっていけば買いかえて) 小中学校の朝読書で読み書かせたい絵本をさがしに行ったが見つからない、子育てひろばでボランティアをしているが、赤ちゃんのためのよい絵本が無い・・・という話も聞く。</p> <p>学校図書館訪問が48→8校というのたいへん残念。積極的な支援を強めてほしい。</p>
<p>全体</p>	<p>職員については、1997年当時は正規職員120(司書100)名体制から、2022年正規職員66名(内司書53名)に減少、全職員は163名と6割が非正規職員だと聞いている。市民の願う図書館サービスへ、図書館行政の充実を求めたい。</p> <p>中央図書館は築50年となり、建てかえが差し迫った課題になっている。全市的な図書館の配置、堺区図書館と中央図書館の問題など、検討すべきことが多い。 中央図書館の建てかえについて、専門家を交えた方向性を検討する段階から、市民・子どもたちの声を反映し、図書館への理解がすすみ、利用が向上するものとなることを願う。 図書館協議会が、さらに市民の図書館への意見、願いや想いを交流する場となることを願う。</p>